

発泡性耐火塗料

SKタイカコート

責任施工

SK
+
TIGHCA
COAT



エスケー化研

発泡性耐火塗料

SKタイカコート

わずか数mm厚の塗膜が、火災時には20～30倍に発泡して断熱層を形成し、鉄骨の倒壊を防ぎます。

発泡性耐火塗料「SKタイカコート」の活用により、従来の耐火被覆材では不可能であった鉄骨自体のフォームを生かす仕上げが可能になりました。わずか数mm厚の塗膜で30分～2時間の耐火性能を発揮できる画期的な耐火被覆材です。

このSKタイカコートは、下塗り用塗料、耐火塗料、上塗り用塗料で構成され、下塗り用塗料は防錆性を付与し、耐火塗料は火災時に20～30倍に発泡して炭化層を形成することで火災から鋼材を守り、上塗り用塗料は意匠性、耐久性を付与するものです。下塗り用塗料、上塗り用塗料を選定し、更に中塗り用塗料を加えることで屋外仕様も可能になります。

特 長

非常に薄い被覆厚

従来の耐火被覆材では不可能であった鉄骨のデザインを活かす仕上げが可能です。

優れた意匠性

上塗り塗料で、自由な色彩に仕上げるができます。

粉塵がでない

ロックウールなど、従来の耐火被覆材と異なり、粉塵の発生がありませんので粉塵を嫌う建築物に最適です。

優れた付着性

鉄骨と良好な付着性を示し、剥離、脱落の心配がありません。

工場施工が可能

現場施工だけでなくプレコート工法が可能であり、工期の短縮に役立ちます。

外部仕様可能

屋内だけではなく、上塗材・下塗材の選択により屋外への適用が可能です。

ノンアスベスト

発がん性物質であるアスベストを含まない安全設計です。

用 途

大空間建築物・アトリウム・ショールーム・競技場・展示場・倉庫・工場等

部 位

- 1・2時間耐火を必要とする屋内外の鉄骨はり・柱
- 30分耐火（柱の防火被覆）を必要とする屋内外の鉄骨柱

耐火性能

SKタイカコートは、発泡終了後の炭化層の割れがなく、安定した耐火性能を示します。



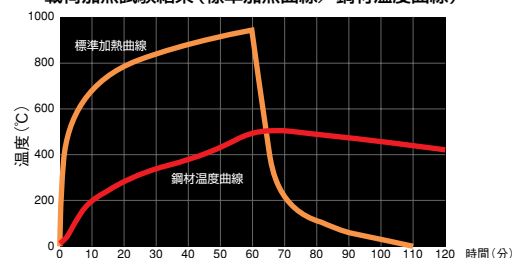
試験前



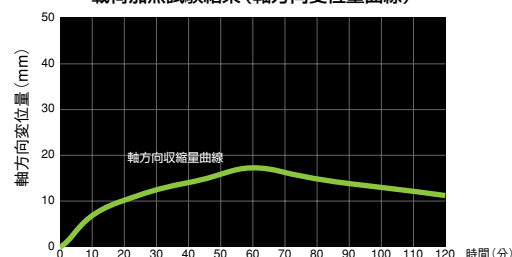
試験後

- 試験規格 一般財団法人 日本建築総合試験所、建築評定センター制定
「耐火性能試験・評価業務方法書」
4.1 耐火性能試験・評価方法
耐火構造（法第2条第七号）
試験方法：載荷加熱試験、試験所：（一財）日本建築総合試験所
鋼材：300×300×9mm、被覆厚：2.0mm

載荷加熱試験結果（標準加熱曲線／鋼材温度曲線）



載荷加熱試験結果（軸方向変位量曲線）



認定番号

■ 建築基準法第2条第七号、同法施行令第107条（耐火構造）

耐火時間	部 位	認定番号	主材膜厚 (mm)	適用鋼材サイズ (mm)
1時間	は り	FP060BM-9419	1.0~2.50	P 6参照
	柱	FP060CN-9472	0.75~4.50	
2時間	鋼管柱	FP120CN-0195	3.0	角形鋼管：350×350×22以上 丸形鋼管：350×27.3、376.8×25、390.4×24、421.7×22以上※
		FP120CN-0224	4.5	角形鋼管：300×300×9以上 丸形鋼管：300×11.4、305.7×11.1、308.3×11、327.8×10.3、337×10、353.7×9.5、360.9×9.3、372.3×9以上※
	H 柱	FP120CN-0248	4.0	H型钢：H300×300×10×15以上
	は り	FP120BM-0276	3.7	H型钢：H400×200×8×13以上

※角形鋼管の断面積以上かつ、外径以上、厚み以上

注意：認定条件を十分ご確認の上、ご採用ください。

■ 建築基準法施行令第70条（柱の防火被覆）

建築基準法（平成12年6月改正）施行令第70条に基づく認定取得

建築基準法が改正され、防火規定が性能規定化されることに伴い、今まで不明確であった施行令の基準がより明確になりました。

耐火時間	部 位	認定番号	名 称	主材膜厚 (mm)	適用鋼材サイズ (mm)
30分	鋼管柱	CC-0001	発泡性アクリル系樹脂塗料被覆／鋼管柱	0.5	□ 300×300×12以上、φ355.6×12以上
	H形柱	CC-0002	発泡性アクリル系樹脂塗料被覆／鉄骨柱	0.5	H300×300×10×15以上

注意：認定条件を十分ご確認の上、ご採用ください。

●旧建築基準法施行令第70条（抜粋）

「地階を除く階数が3階以上の建築物にあっては、1の柱のみの加熱による耐力の低下によって、建築物全体が容易に倒壊する恐れがある場合には、当該柱は、モルタルその他の断熱性のある材料で被覆しなければならない。」

●新建築基準法施行令第70条（抜粋）

「地階を除く階数が3階以上の建築物（法第2条第9号の2イに掲げる基準に適合する建築物及び同条第9号の3のイに該当する建築物を除く）にあっては、1の柱のみの火熱による耐力の低下によって建築物全体が容易に倒壊する恐れがある場合として国土交通大臣が定める場合においては、当該柱の構造は、通常の火災による火熱が加えられた場合に、加熱開始後30分間構造耐力上支障のある変形・溶融・破壊その他の損傷を生じないものとして国土交通大臣が定めた構造方法（①）を用いるもの又は国土交通大臣の認定を受けたもの（②）としなければならない。」

告示 平12建告第1356号 抜粋

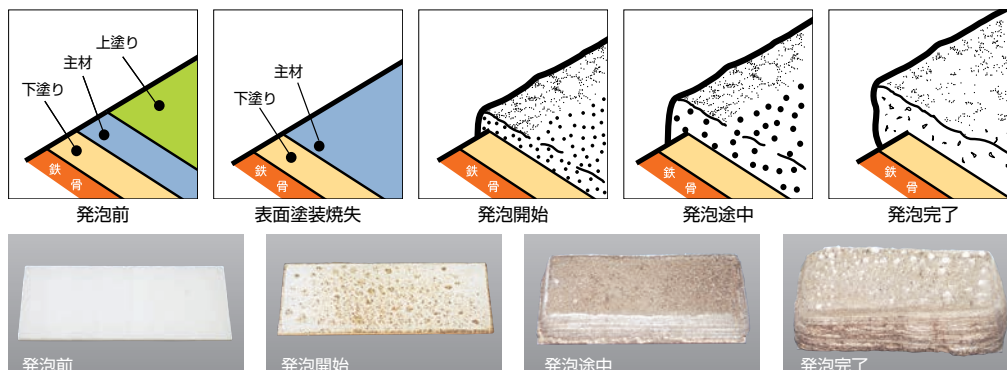
①国土交通大臣が定めた構造方法

1. 厚さが12ミリメートル以上の石膏ボードで覆ったもの
2. 厚さが12ミリメートル以上の窯業系サイディングで覆ったもの
3. 厚さが12ミリメートル以上の繊維強化セメント板で覆ったもの
4. 厚さが9ミリメートル以上の石膏ボードに厚さが9ミリメートル以上の石膏ボード又は難燃合板を重ねて覆ったもの
5. 厚さが15ミリメートル以上の鉄網モルタル塗りで覆ったもの

②国土交通大臣の認定を受けたもの（SKタイカコート（0.5mm））

このように特殊建築物ではなく、防火・準防火地域でもない場所の建築物は、耐火建築物・準耐火建築物とする必要がなく、鉄骨部に耐火被覆を施す必要がありません。施行令第70条は、そのような建物に対して適用されるものです（但し、適用される建築物は、3階建て以上の建物に限ります）。旧建築基準法施行令第70条で用いられていた1時間耐火認定材料は、新建築基準法では左記告示平12建告第1356号に定められたもの以外、適用できません。

加熱発泡機構



SKタイカコートの外観は、通常時は一般塗装仕上げと同様です。火災時に熱を受けると、250℃前後で発泡を開始し、20～30倍に膨張して炭化層を形成します。その炭化層が断熱層となり鉄骨の温度上昇を抑えます。

標準施工仕様例

●屋 内

(20℃、65%RH)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	平均乾燥膜厚 (μm)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考	
						工 程 内	工 程 間	最 終 養 生		
工場 施工	素 地 整	● ディスクサンダー、ワイヤーブラシなどにより素地調整2種相当SSPC SP3まで除錆してください。 ● 特に溶接部は入念に行ってください。 ● 水分、油脂類は付着低下の原因となりますので、溶剤等で除去してください。							—	
	下 塗 り	SKタイカコート下塗材M 主剤	100	0.14~0.17	40	1	—	※1 16以上 30日以内	—	● エアレススプレー ● ローラー ● 刷毛
		SKタイカコート下塗材M 硬化剤	25							
		塗料用シンナー-A	0~10							
現場 施工	素 地 下 塗 り 補 修	● 工具、ウエスなどにより表面のごみ、汚れ、水分を除去、清掃する。 ● 工場施工での下塗りの剥がれ部、接合部などは補修する。							—	
		SKタイカコート下塗材M 主剤	100	0.14~0.17	40	1	—	16以上 30日以内	—	● ローラー ● 刷毛
		SKタイカコート下塗材M 硬化剤	25							
	塗料用シンナー-A	0~10	—							
	主材塗り	SKタイカコート主材IN	100	※2 膜厚による		4以上※4 (16以上)	※5 48以上	—	● エアレススプレー ● ローラー ● 刷毛	
		SKタイカコート主材INシンナー	0~5							
	上 塗 り※3	SKタイカコート上塗材(屋内用)A	100	0.24~0.30	40	2	2以上	—	24以上	● エアレススプレー ● ローラー ● 刷毛
清 水		5~15	—							

●屋 外

(20℃、65%RH)										
工 程		材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	平均乾燥膜厚 (μm)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
							工 程 内	工 程 間	最終養生	
工場 施工	素地調整	● プラストにより、素地調整1種B相当SSPC SP10まで除錆する。								—
	下塗り①	SK#8000プライマー 主剤 ※6	100	0.20~0.23	20	1	—	16以上 180日以内	—	● エアレススプレー (シンクリッチ用) ● 刷毛 ● ローラー
		SK#8000プライマー 硬化剤	25							
		SK#8000プライマー 亜鉛末	500							
	下塗り②	SK#8000プライマーシンナー	100~150 ※7	—	40	1	—	※1 16以上 30日以内	—	● エアレススプレー ● ローラー ● 刷毛
		SKタイカコート下塗材 主剤	100	0.14~0.17						
		SKタイカコート下塗材 硬化剤	25							
	EHシンナー	0~30	—							
※8 現場 施工	素 地 下 塗 り 補 修	● 工具、ウエスなどにより表面のごみ、汚れ、水分を除去、清掃する。 ● 工場施工での下塗りの剥がれ部、接合部などは補修する。								—
		SKタイカコート下塗材 主剤	100	0.14~0.17	40	1	—	16以上 30日以内	—	● ローラー ● 刷毛
		SKタイカコート下塗材 硬化剤	25							
		EHシンナー	0~20	—						
	主材塗り	SKタイカコート主材EX	100	※2 膜厚による			4以上 (16以上)	※4 48以上	※5 —	● エアレススプレー ● ローラー ● 刷毛
		SKタイカコート主材シンナー	0~5							
	中 塗 り	SKタイカコート中塗材 主剤	100	0.30~0.50	80	2	4以上	16以上 7日以内	—	● エアレススプレー ● ローラー ● 刷毛
		SKタイカコート中塗材 硬化剤	17.6							
		EHシンナー	0~15	—						
	上塗り①	SKタイカコートF中塗材 主剤	100	0.12~0.15	20	1	—	1以上 7日以内	—	● エアレススプレー ● ローラー ● 刷毛
		SKタイカコートF中塗材 硬化剤	14.3							
	塗料用シンナー-A	0~20	—							
上塗り②	SKタイカコート上塗材(屋外用)F 主剤	100	0.12~0.15	20	1	—	—	24以上	● エアレススプレー ● ローラー ● 刷毛	
	SKタイカコート上塗材(屋外用)F 硬化剤	14.3								
	塗料用シンナー-A	0~20	—							

※1. 下塗材塗付後、次工程までの間隔が長期間となる場合は、弊社指定のエポキシ樹脂系母酸化した塗料「SKMIOプライマー」(所要量0.24~0.36kg/m²、平均乾燥膜厚は50μm)を塗付してください。なお、「SKMIOプライマー」を塗装しない場合は、主材施工前に再度、下塗材を塗装します。

※2. 主材の膜厚は鋼材のサイズにより異なります。このため、所要量、塗回数は現場毎に決定されます。

※3. 上塗りにはこの他、ポリウレタン樹脂系のSKタイカコート上塗材(屋外用)U、シリコン樹脂系のSKタイカコート上塗材(屋外用)Siを使用することができます。

※4. SKタイカコート主材IN/EXの同一内の工程内間隔時間は4時間以上となります。また、1日の最大乾燥膜厚は1.0mmまでとし、翌日の塗装までの工程内間隔時間は16時間以上です。

※5. SKタイカコート主材IN/EXは上塗材を塗装するまで雨水等がかからないようにしてください。主材は溶剤形であるため、上塗材施工までに十分、乾燥養生する必要があります。気温条件ならびに主材膜厚における主材の養生時間を下表に示します。なお、主材の乾燥の目安としては、膜厚測定の際に電磁式膜厚計のプロブ跡が極端につかなくなる程度です。

温 度	主材厚み別養生期間 (mm)		
	2mm以下	3mm以下	4.5mm以下
5℃	5日間以上	7日間以上 ^{※1}	12日間以上 ^{※2}
25℃	2日間以上	3日間以上	5日間以上

※1. 中塗材までの養生期間は5日間、中塗り後、上塗りまでの工程間は2日間以上

※2. 中塗材までの養生期間は5日間、中塗り後、上塗りまでの工程間は7日間以上

※6. SK#8000プライマーは主剤に硬化剤を規定量加え、攪拌しながら亜鉛末を少量ずつ加え、均一になるまで十分に攪拌してください。その後、シンナーを添加し、更に攪拌してください。調合後、80~100メッシュのふるいでろ過してからご使用ください。なお、攪拌は、電動ミキサーなどで行い、使用中も攪拌を続けてください。

※7. SK#8000プライマーの希釈率は、主剤100に対して刷毛・ローラー塗り時で「100~125」、スプレー塗り時で「125~150」となります。

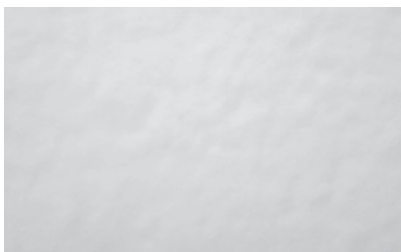
※8. 他の部材との取合い部は、雨水の浸入を防ぐため、シール処理を行ってください。なお、詳細については、別途お問い合わせください。

※9. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。

注)

- ・SKタイカコートは、全て弊社施工となりますので、施工の詳細は、別途施工計画書をご参照ください。
- ・屋外環境において、クーリングタワー周辺や耐風梁(ウエブが水平となる構造)の施工部位は過酷な環境となるため早期に劣化します。劣化を防止するため、笠木仕様や防水仕様を提案します。
- ・耐火塗料施工面には、クリップや後付け金物を設置しないようにしてください。塗膜が損傷し、早期劣化の原因となります。設置予定がある場合は、耐火塗料施工前に、設置用のピースを部材に溶接してください。万一、耐火塗料を施工後、クリップを設置する場合は、塗膜に損傷を与えないように、ゴムシート等を挟んでください。

仕上がりパターン例



エアレススプレー塗り ※1



ローラー塗り(短毛) ※2

※1. ゆず肌状のパターンになります。
※2. 短毛ローラーのパターンです。
中毛ローラーの場合は凹凸が著しくなります。

屋内仕様例

●一般屋内仕様

素地調整2種 → SKタイカコート下塗材M → SKタイカコート主材IN → 適用上塗材

■適用上塗材一覧

種 類	製品名	艶の種類
アクリル樹脂系	SKタイカコート上塗材(屋内用)A	艶有り、半艶、3分艶、艶消し
ポリウレタン樹脂系	SKタイカコート上塗材(屋外用)U	艶有り、5分艶、3分艶
シリコン樹脂系	SKタイカコート上塗材(屋外用)Si	艶有り、5分艶、3分艶
ふっ素樹脂系	SKタイカコート上塗材(屋外用)F*	艶有り、5分艶、3分艶

* SKタイカコートF中塗材/SKタイカコート上塗材(屋外用)Fの仕様となります。

注) 他の上塗材につきましては、弊社担当者にお問い合わせください。

屋外仕様例

素地調整1種B → SK#8000プライマー → SKタイカコート下塗材 → SKタイカコート主材EX → SKタイカコート中塗材 → 適用上塗材

荷 姿

製 品 名	荷 姿	ホルムアルデヒド 放 散 等 級	消防法による危険物表示
★SK#8000プライマー	15kgセット 主 剤 2.4kg石油缶 硬化剤 0.6kg缶 亜鉛末 12kg袋	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ — —
★SKタイカコート下塗材	18kgセット 主 剤 14.4kg石油缶 硬化剤 3.6kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SKタイカコート下塗材M	16kgセット 主 剤 12.8kg石油缶 硬化剤 3.2kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SKMIOプライマー	21kgセット 主 剤 18kg石油缶 硬化剤 3kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第一石油類 危険等級Ⅱ
★SKタイカコート主材EX/主材IN	20kg石油缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SKタイカコート中塗材	20kgセット 主 剤 17kg石油缶 硬化剤 3kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SKタイカコート中塗材M	16kgセット 主 剤 12.8kg石油缶 硬化剤 3.2kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
SKタイカコート上塗材(屋内用)A	16kg石油缶	F☆☆☆☆	— —
★SKタイカコート上塗材(屋外用)U	16kgセット 主 剤 14kg石油缶 硬化剤 2kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SKタイカコート上塗材(屋外用)Si	16kgセット 主 剤 14kg石油缶 硬化剤 2kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SKタイカコートF中塗材	16kgセット 主 剤 14kg石油缶 硬化剤 2kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SKタイカコート上塗材(屋外用)F	16kgセット 主 剤 14kg石油缶 硬化剤 2kg缶	F☆☆☆☆	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ 第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SK#8000プライマーシンナー	16ℓ石油缶	—	第四類第一石油類 危険等級Ⅱ
★EHシンナー	16ℓ石油缶	—	第四類第一石油類 危険等級Ⅱ
★SKタイカコート主材シンナー	16ℓ石油缶	—	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★SKタイカコート主材INシンナー	16ℓ石油缶	—	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ
★塗料用シンナーA	16ℓ石油缶	—	第四類第二石油類 危険等級Ⅲ

●危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点に注意してください。

- 1) 引火性の液体のため、火気厳禁です。特に屋内仕様では、換気や通風が不十分になり、溶剤蒸気が滞留しやすいため、ご注意ください。
- 2) 有機溶剤中毒の恐れがあるため換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
- 3) 屋外仕様においては、溶剤成分が室内に流入しないように充分注意してください。

※ 屋内塗装等、施工環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工上の注意

1. 気象条件

- 外部で施工する場合、強風のときは施工を中止してください。風速5m/sec. 以上の場合、パターンが不均一になったり、塗膜の割れ、飛散による周辺環境の汚染などが生じやすくなります。
- 主材の施工中及び上塗りを施工するまでの期間は雨水などが塗膜にかからないようにしてください。また、上塗り終了後、最低24時間は降雨を避けてください。
- 気温5℃以下での施工は原則的に避けてください。施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。
- 風が強いほど、また施工箇所が地上から高くなるほど被塗面の温度が下がりますので、注意してください。

2. 足場

- 塗装作業の安全性、仕上塗材の均一性を向上させるため、良い足場を選定してください。機械重量、材料重量、作業員数などを考え、強固な素材で足場を設置してください。
- 足場と塗装面の距離は50cm程度とし、足場ムラのないように注意して施工してください。

3. 塗装器具、機械

- SKタイカコート主材EX・INの塗装機械
 - 1) エアレスポンプ：駆動源OHVガソリンエンジン6.0PS
 最大圧力18MPa (184kgf/cm²) 最大吐出量6.0L/分
 エアレスガン：チップ口径0.66mm (0.026inch) ガンフィルター40メッシュ
 - 2) エアレスポンプ：駆動源AC100V・1.5PS (1100W)
 最大圧力18MPa (184kgf/cm²) 最大吐出量4.3L/分
 エアレスガン：チップ口径0.66mm (0.026inch) ガンフィルター40メッシュ
- 膜厚測定機器
 電磁式膜厚計：乾燥塗膜の膜厚測定

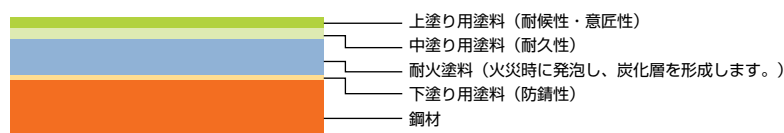
4. 材料の保管

- 材料は40℃以下、0℃以上の屋内で火気の危険のない場所に保管してください。

取扱説明書（屋外環境）

1. 使用上の注意

本製品は、下塗り用塗料（さび止め塗料）、耐火塗料、中塗り用塗料および上塗り用塗料の複層で構成されています。耐火塗料は、中塗り用塗料、上塗り用塗料により保護されることで、その性能は維持されます。しかしながら、上塗り用塗料の塗膜劣化や傷等により、雨水が耐火塗料へ浸入した場合、耐火塗料自体の割れ、浮き、剥離等の予測不可能な塗膜劣化が生じ、耐火性能が低下します。これを防止するため、日常点検による上塗り用塗料の塗膜劣化を早期に発見して頂くとともに、傷等がある場合も、補修又は塗増しを実施してください。



〔本製品を施工した塗膜面には、傷等を付けないでください（塗膜面への金物の設置等）。雨水が浸入することで、耐火塗料が剥離する可能性があります。〕

2. 維持管理

本製品は、建築物が供用される期間において耐火性能を維持する必要があります。このため、お引渡し後は、建物所有者様が定期的な自主検査をして頂き、傷や上塗り用塗料の塗膜劣化の早期発見と共に、適切な補修または塗増し等を実施してください。推奨する点検の概要を下表に示します。

点検種類	方 法	点検周期
日常点検	目視	1年毎に1回
臨時点検	目視・触診	日常点検で異常が認められた時

劣化には以下の種類がありますので、参考にしてください。

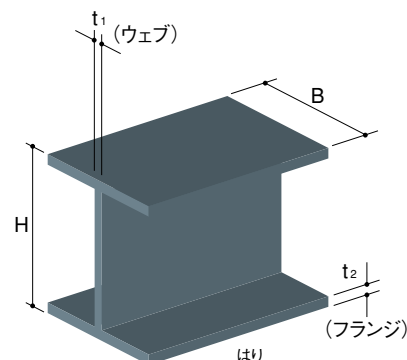
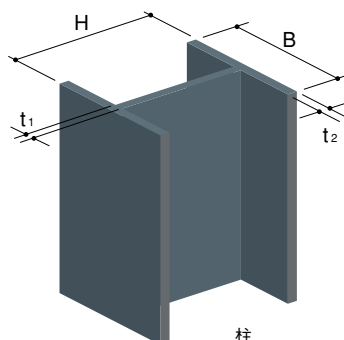
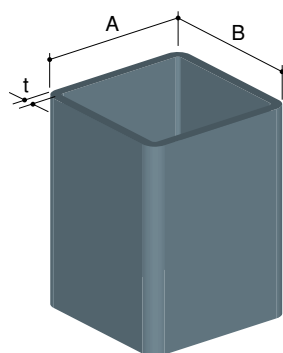
項 目	内 容
白亜化	塗膜表面が離脱しやすい粉状になる現象
われ	塗膜にさげ目ができる現象
ふくれ	塗膜がガスまたは液体を含んでいる状態
はがれ	塗膜が付着力を失って被塗面から離れる現象

3. メンテナンスサイクル

上塗材の種類により、メンテナンスサイクルが異なります。本サイクルでの塗増しを推奨します。

上塗材	塗増し時期	備 考
ポリウレタン樹脂系	5～7年程度	地域、立地条件、施工部位、方角等により異なりますので、参考値としてお考えください。
アクリルシリコン樹脂系	6～8年程度	
ふっ素樹脂系	8～10年程度	

■ 鋼材寸法と被覆厚 — 柱1時間耐火 — (角形鋼管・H柱・梁)



● 角形鋼管 被覆厚 (mm)

注) 下表中“—”印は適用範囲外を示す

規格	鋼材寸法		t (厚さ mm)										
	A	B	1.6	2.3	3.2	4.0	4.2	4.5	5.0	6.0	8.0	9.0	12.0
JIS G 3466	40	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	75	75	—	—	—	—	—	4.50	—	—	—	—	—
	80	80	—	—	—	—	—	4.50	—	—	—	—	—
	90	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	100	100	—	—	—	—	—	4.25	—	3.25	—	2.75	2.25
	125	125	—	—	—	—	—	4.25	3.75	3.25	—	2.75	2.25
	150	150	—	—	—	—	—	4.25	3.75	3.25	—	2.50	—
	175	175	—	—	—	—	—	4.25	3.75	3.25	—	—	—
	200	200	—	—	—	—	—	4.00	—	3.25	2.75	2.50	2.00
	250	250	—	—	—	—	—	—	3.50	3.25	2.75	2.50	2.00
	300	300	—	—	—	—	—	4.00	—	3.25	—	2.50*	2.00
	350	350	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.50*	2.00
	50	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
BCR	60	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	75	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	75	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	80	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	90	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	100	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	100	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	100	50	—	—	—	—	—	4.50	—	—	—	—	—
	125	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	125	75	—	—	—	—	—	4.00	—	3.25	—	—	—
	150	75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	150	80	—	—	—	—	—	4.25	3.75	3.25	—	—	—
	150	100	—	—	—	—	—	4.25	—	3.25	—	2.75	—
	200	100	—	—	—	—	—	4.25	—	3.25	—	2.50	—
	200	150	—	—	—	—	—	4.25	—	3.25	—	2.50	—
	250	150	—	—	—	—	—	3.25	—	2.50	—	2.50	—
BCP	300	200	—	—	—	—	—	—	—	3.25	—	2.50	2.00
	350	150	—	—	—	—	—	—	—	3.25	—	2.50	2.00
	400	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	450	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	500	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	500	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

規格	鋼材寸法		t (厚さ mm)								
	A	B	6.0	8.0	9.0	12.0	14.0	16.0	19.0	22.0	
BCR	200	200	3.25	2.75	2.50	2.25	—	—	—	—	—
	250	250	3.25	2.75	2.50	2.00	1.75	1.50	—	—	—
	300	300	3.25	2.75	2.50*	2.00	1.75	1.50	1.00	—	—
	350	350	—	—	2.50*	2.00	1.75	1.50	1.00	1.00	—
	400	400	—	—	2.50*	2.00	1.75	1.50	1.00	1.00	—
	450	450	—	—	2.50*	2.00	1.75	1.25	1.00	1.00	—
BCP	500	500	—	—	—	2.00	1.75	1.25	1.00	1.00	—

規格	鋼材寸法		t (厚さ mm)								
	A	B	16.0	19.0	22.0	25.0	28.0	32.0	36.0	38.0	40.0
BCP	400	400	—	1.00	1.00	0.75	—	—	—	—	—
	450	450	—	1.00	1.00	0.75	0.75	0.75	—	—	—
	500	500	1.50	1.00	1.00	0.75	0.75	0.75	—	—	—
	550	550	1.25	1.00	1.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	600	600	1.25	1.00	1.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	650	650	1.25	1.00	1.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	700	700	1.25	1.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	750	750	—	1.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	800	800	—	1.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	850	850	—	1.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	900	900	—	1.00	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	950	950	—	—	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
	1000	1000	—	—	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75

● H形鋼 (JIS G3192 - 2000)

規格	鋼材寸法		t (厚さ mm)		被覆厚 (mm)	
	H	B	t1	t2	柱	梁
JIS G 3192	100	50	5	7	2.50	2.25
	100	100	6	8	2.25	1.75
	125	60	6	8	2.25	1.75
	125	125	6.5	9	2.25	1.75
	150	75	5	7	2.50	2.25
	148	100	6	9	2.25	1.75
	150	150	7	10	2.00	1.75
	175	90	5	8	2.50	2.00
	175	175	7.5	11	2.00	1.50
	198	99	4.5	7	2.50	2.50
	200	100	5.5	8	2.50	1.75
	194	150	6	9	2.25	1.75
	200	200	8	12	1.75	1.50
	200	204	12	12	1.75	1.50
	248	124	5	8	2.50	2.00
	250	125	6	9	2.25	1.75
JIS G 3192	244	175	7	11	2.00	1.50
	250	250	9	14	1.50	1.50
	250	255	14	14	1.50	1.50
	298	149	5.5	8	2.25	1.75
	300	150	6.5	9	2.25	1.75
	294	200	8	12	1.75	1.50
	294	302	12	12	1.75	1.50
	300	300	10	15	1.50	1.50
	300	305	15	15	1.25	1.25
	346	174	6	9	2.25	1.75
	350	175	7	11	2.00	1.75
	340	250	9	14	1.75	1.50
	344	348	10	16	1.50	1.50
	350	350	12	19	1.25	1.25
	396	199	7	11	2.00	1.75
	400	200	8	13	1.75	1.50
	390	300	10	16	1.50	1.50
	388	402	15	15	1.25	1.25
	394	398	11	18	1.25	1.25
	400	400	13	21	1.00	1.25
	400	408	21	21	0.87	1.25
	414	405	18	28	0.87	1.00
	428	407	20	35	0.87	1.00
	458	417	30	50	0.87	1.00
	498	432	45	70	0.87	1.00
	446	199	8	12	2.00	1.50
	450	200	9	14	1.75	1.50
	440	300	11	18	1.25	1.25
	496	199	9	14	1.75	1.50
	500	200	10	16	1.50	1.50
	506	201	11	19	1.50	1.50
	482	300	11	15	1.50	1.50
	488	300	11	15	1.75	1.50
	596	199	10	15	1.75	1.50
	600	200	11	17	1.50	1.50
	606	201	12	20	1.25	1.50
	582	300	12	17	1.50	1.50
	588	300	12	20	1.25	1.25
	594	302	14	23	1.00	1.25
	692	300	13	20	1.25	1.25
	700	300	13	24	1.00	1.25
	792	300	14	22	1.00	1.25
	800	300	14	26	1.00	1.25
	890	299	15	23	1.00	1.25
	900	300	16	28	0.87	1.25
	912	302	18	34	0.87	1.25

注1) H:高さ B:幅 t1:ウェブ厚さ t2:フランジ厚さ (単位:mm)

注2) A:辺の長さ B:辺の長さ t:厚さ (単位:mm)

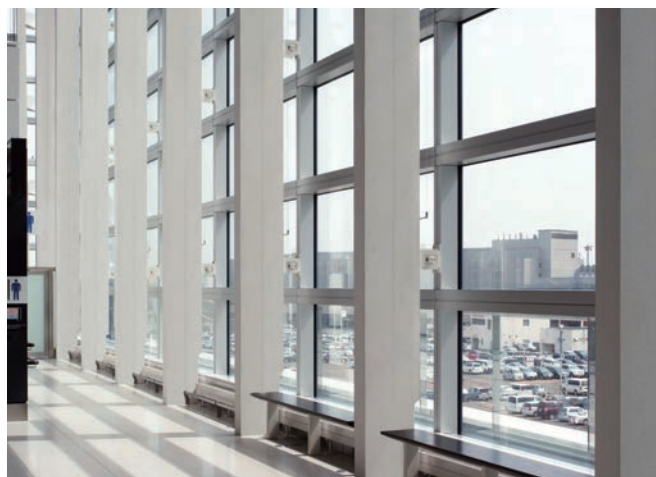
注3) BCR、BCP: (社) 日本鉄鋼連盟 (旧: 鉄鋼倶楽部) 規格

* 認定番号FP060CN-0047を適用することで2.00mm厚となります。

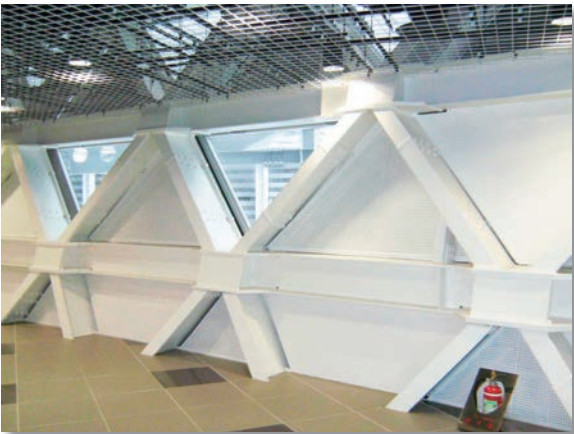
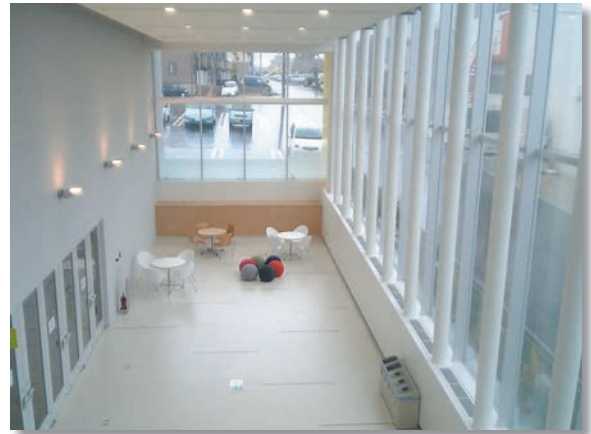
オフィスビル



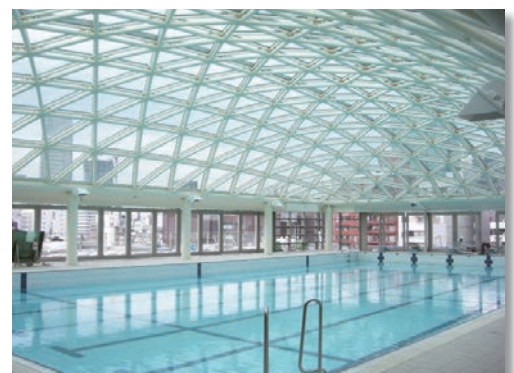
空 港



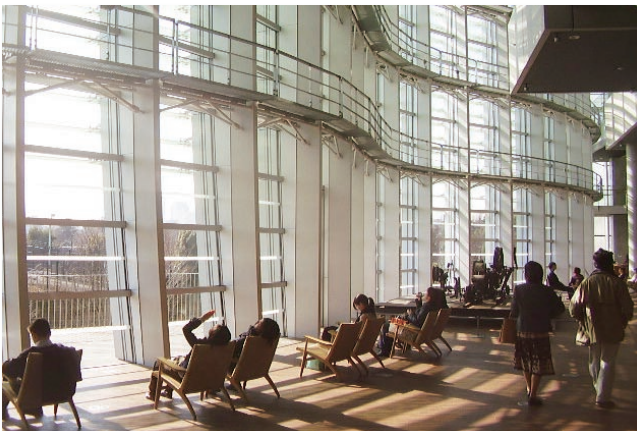
学 校



運 動 施 設



公 共 施 設



ホ テ ル



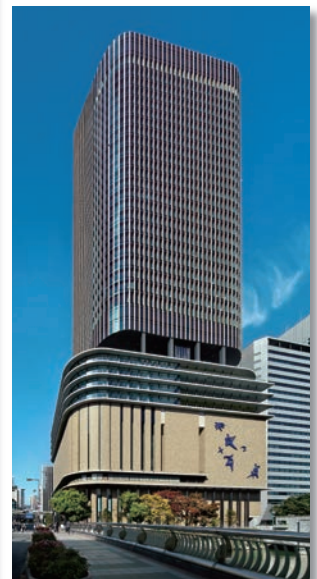
病 院



立体駐車場・倉庫用途



複合施設





エスケー化研株式会社

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>

本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601
札幌支店 ☎011-784-4000 東京支店 ☎03-3204-6601
仙台支店 ☎022-259-2431 千葉支店 ☎043-304-0411
旭川営業所 ☎0166-51-8094 宇都宮営業所 ☎028-633-9721
仙台住宅開発営業所 ☎022-259-2431 東京(第一第二)営業所 ☎03-3204-6601
青森営業所 ☎017-762-3855 東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602
盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413
郡山営業所 ☎024-962-7673 埼玉営業所 ☎048-686-2391
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586
前橋営業所 ☎027-265-4100 城東営業所 ☎03-3877-7770
長野営業所 ☎026-239-6210 三多摩営業所 ☎042-564-5806
松本営業所 ☎0263-24-2677 横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525
水戸営業所 ☎029-251-6515 厚木営業所 ☎046-294-3666

国際事業本部 ☎072-621-7727
埼玉支店 ☎048-686-2391
横浜支店 ☎045-820-2400
静岡営業所 ☎054-284-1877
浜松営業所 ☎053-462-7021
三河営業所 ☎0564-28-1614
北陸営業所 ☎076-266-1041
名古屋営業所 ☎052-561-7712
名古屋住宅開発営業所 ☎052-561-7712
岐阜営業所 ☎058-273-1981
三重営業所 ☎059-236-5101
京都営業所 ☎075-646-3967
大阪営業所 ☎072-621-7722

名古屋支店 ☎052-561-7712
大阪支店 ☎072-621-7721
大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747
南大阪営業所 ☎072-253-1910
神戸営業所 ☎078-671-0451
姫路出張所 ☎0792-33-7371
岡山営業所 ☎086-242-5520
広島住宅開発営業所 ☎082-278-4951
山口営業所 ☎083-924-7575
高松営業所 ☎087-865-5411
松山出張所 ☎089-968-7240
北九州営業所 ☎093-621-8505

広島支店 ☎082-278-4951
福岡支店 ☎092-629-3427
福岡営業所 ☎092-622-5561
福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
大分出張所 ☎097-523-2861
長崎営業所 ☎095-887-0871
熊本営業所 ☎096-344-5650
鹿児島営業所 ☎099-284-5321
宮崎出張所 ☎0985-61-7779
沖縄営業所 ☎098-862-5041

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

【製作年月:2013年12月】(131213.Y-18)